

# 株 主 通 信

第 2 期 中 間 期

平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日

ISETAN MITSUKOSHI HOLDINGS

青朽葉 *aokuchiba*



三越伊勢丹ホールディングス

# グループ企業理念

「三越伊勢丹グループ企業理念」は、三越、伊勢丹の両社が、長い歴史と伝統の中で培った「企業理念」を不変の価値観として継承するとともに、経営統合を契機に、さらに発展・進化すべき方向を表しています。

「三越伊勢丹グループ企業理念」は、「グループ理念」「グループビジョン」「グループスローガン」の3つから構成され、「グループ理念」では三越伊勢丹グループのステークホルダーに対する基本姿勢を、「グループビジョン」では三越伊勢丹グループの目指すべき方向を、そして「グループスローガン」ではこれらの核心をスローガンとして内外に宣言しております。

## グループ理念

真摯に、しなやかに、力強く、向きあいます。

- お客さま一人ひとりと向きあいます。 ご要望とご期待に感動レベルのおもてなしでお応えします。
- 仲間たちと向きあいます。 学びあい、磨きあい、新たな価値を創造します。
- 株主の皆さまと向きあいます。 公正透明な経営を基盤に、誠意と成果でお応えします。
- パートナーの皆さまと向きあいます。 顧客満足を合言葉に、最良の関係を築きます。
- 地域、社会、地球と向きあいます。 ありたい未来の実現に向けて貢献します。

将来にわたり、かけがえのない信頼関係を築いていきます。

## グループビジョン

お客さまの生活のあらゆる場面でお役に立つことが、私たちの喜びであり、誇りです。

- おもてなしの「満足度」で世界随一 (感動)
- サービス、商品、店舗の「質」で世界随一 (上質)
- 新たな価値の「提供力」で世界随一 (創造)
- 価値をつなぐ「ネットワーク力」で世界随一 (連携)
- たゆまぬ「革新力」で世界随一 (変革)

新鮮な感動と上質なサービスの提供により、世界随一の小売サービス業をめざしていきます。

## グループスローガン

向きあって、その先へ。

### 目次

グループ企業理念.....	1
ごあいさつ.....	2
当中間期の概況.....	3
連結財務諸表.....	11
三越伊勢丹グループの目指す方向.....	13
新たな「株主ご優待制度」のご案内.....	15
三越伊勢丹ホールディングスの概要.....	17
グループ店舗のご案内.....	20
株式に関するお知らせ.....	21
株主メモ.....	22

※本「株主通信」の一部におきまして、第2四半期累計期間を中間期とする等の表記をしております。



代表取締役会長執行役員  
武藤 信一



代表取締役社長執行役員  
石塚 邦雄

## 世界随一の 小売サービス業グループの 実現に向けて

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、平成21年9月30日をもちまして、株式会社三越伊勢丹ホールディングスの第2期中間期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の決算を行いましたので、ここに株主通信をお届けさせていただきます。何卒、ご高覧いただきたくお願い申しあげます。

当中間期におきましては、企業収益の大幅な減少、雇用情勢や所得環境の一層の悪化などで、個人消費は依然として低迷が続き、当社グループの業績も極めて厳しい状況で推移いたしました。この間、当社グループは統合効果をさらに高めるべく、一段と踏み込んだ構造改革に、全社一丸となって取り組んでまいりました。

今後も、厳しい環境が続くと思われませんが、一つひとつのお客さまのお声と向き合い、お客さまに感動していただけるような百貨店本来の価値を提供することで「世界随一の小売サービス業グループ」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

### 当社グループの現況に関する事項

#### (1) 事業の経過およびその成果

当中間期における日本経済は、未曾有の金融危機による世界規模の経済的混乱が続くなか、企業の生産や設備投資が急減するとともに、雇用・所得環境の悪化で家計消費支出も大幅に萎縮するなど、極めて厳しい状況が続きました。

小売業界におきましても、消費マインドの喚起に向けて各社が懸命に施策を講じましたが、先行き不安などから消費者の節約志向は一段と進展し、多くの企業が大幅な減収基調となるなど、全体としては極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ企業理念に掲げる「世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向け、「三越・伊勢丹ブランドの価値向上」、「グループ力を最大限に発揮するための営業基盤の統合」および「店頭において販売員が提供する顧客満足の最大化」を基本方針に掲げ、三越および伊勢丹が有する強みと経営資源を最大限に活かすべく、営業力の強化と業務効率の向上に向けた基盤整備に取り組みました。

## 百貨店業



〈三越・日本橋本店〉

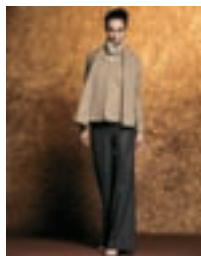
百貨店業では、まず、三越におきまして、コーポレートメッセージの「飾る日も 飾らない日も 三越と」のもと、お客さまの人生の節目を飾る特別な日にも、ささやかな日常の中の一にも、上質な商品とサービスを提供することで、お客さまとの強い信頼関係を築いてまいりました。

日本橋本店におきましては、「三越の象徴に相応しいプレステージストア」の確立を目指し、お客さまへの提供価値をさらに高めるべく、店頭営業に関する組織や業務フローを再構築するとともに、常に最高レベルの販売サービスを提供していくために営業推進体制の整備に取り組みました。

また、銀座店では増床計画を推進しておりますが、平成22年秋の完成時には銀座・有楽町地区において最大規模の商業施設に生まれ変わる予定でございます。本計画は、世

界有数の商業集積地である銀座において、同店が「新しい価値を、スタイルとして創造し、時代の扉を開ける店」となるべく、当社グループの持てるノウハウを最大限に結集することで成功を期してまいります。

次に、伊勢丹におきましては、企業スローガンの「毎日が、あたらしい。ファッションの伊勢丹」を具体的に実践すべく、同社限定



〈三越・銀座店(完成後のイメージ)〉

の商品である「オンリー・アイ」をはじめ、独自性の高い商品やサービスを、衣・食・住のすべての分野において幅広く提案してまいりました。

新宿本店では、「世界最高のファッションデパートメントストア」の確立を目指し、お客さまのご満足の最大化に向け、「お客さまの心理」をさらに深く追求することで、お客さまに感動していただける「品揃え」や「環境・空間を含むサービス」の提供に努めました。



〈伊勢丹・新宿本店〉



昨年9月に新たなコンセプトフロアとして本館地下2階にオープンした「ISETAN GIRL」は、伊勢丹独自の「カワイイ」アイテムをさらに充実させるとともに、コラボレーション企画等を推進することで新たなお客さまを増やしました。

また、本年9月でオープン6周年を迎える「メンズ館」(ISETAN MEN'S)では、マーケットの拡大に向け、店頭で支持される旬の商品を全国のWEBファッション顧客に発信するためのオンラインショップを開いたしました。



また、伊勢丹の支店では、各店の品揃えや業務オペレーションを標準化した「ユニットショップ」が、地域顧客のニーズを的確に捉えた独自商品の開発に取り組みました。

一方、その他のグループ百貨店につきましては、株式会社静岡伊勢丹、株式会社新潟伊勢丹、株式会社岩田屋および株式会社ジェイアール西日本伊勢丹において、グループ運営体制の基盤整備をさらに推し進め、営業力の強化と業務効率の向上に努めました。

さらに、グループ内の経営資源の最適化が迅速に図られる体制を整えるため、本年10月1日付で、伊勢丹の完全子会社である静岡伊勢丹および新潟伊勢丹の株式を、吸収分割により当社に移管し両社を直接子会社とするとともに、伊勢丹の保有する岩田屋の株式につきましても、同日、吸収分割により当社に移管し同社を直接子会社といたしました。また、当社と岩田屋は、10月15日付で、株式交換を行い岩田屋は当社の完全子会社となりました。



なお、本年1月に民事再生手続の開始が決定した株式会社丸井今井につきましては、その後4月に当社が正式なス

ポンサーに就任し具体的な協議を進めた結果、同社の事業毀損を最小限に抑えるためには、早期に事業譲渡を実施すべきとの判断に至りました。それに基づき、当社が新たに設立した株式会社札幌丸井今井と株式会社函館丸井今井に、本年7月31日付で、株式会社丸井今井の札幌事業と函館事業をそれぞれ譲り受け、8月1日より事業を開始いたしました。今後は、地域顧客のご期待にお応えすべく、当社グループのあらゆる経営資源を最大限に活用し戦略的な施策を推進することで、事業の再生を果たしてまいりたいと考えています。



〈岩田屋・本店〉

また、各地域の百貨店店舗が、地域に密着した最適な営業施策を迅速に推進できる運営体制を確立すべく、地域事業準備会社を設立するなど、百貨店事業に係る組織再編に向けて準備を進めました。



〈札幌丸井今井〉

このように、国内の百貨店業におきましては、グループ全体の営業力の強化と業務効率の向上に向けて運営基盤の整備を着実に進めてまいりました。しかしながら、景気の先行きに依然として明るさが見えないなか、衣料品を中心に減収傾向が常態化するなど、全体としては極めて厳しい商況が続きました。

他方、海外の百貨店業につきましては、中国の既存店舗の売上高は堅調に推移いたしましたが、東南アジアでは世界的な経済不況の影響で消費不振が続く地域も多く、また、為替の影響もあり、全体としては売上高が前年を下回る水準で推移いたしました。

以上のような結果により、百貨店業の売上高は5,710億円余、前年同期比87.1%、営業利益は前年同期と比べ95億円余減少し5億円余の利益となりました。

## ■ クレジット・金融業

クレジット・金融業につきましては、来年4月に予定するグループカードの発行開始に備えてカード事業の推進体制を整備するため、本年4月1日付で、伊勢丹の完全子会社である株式会社伊勢丹アイカードの株式を、吸収分割により当社に移管し同社を直接子会社とし、さらに、9月1日付で、同社の商号を株式会社エムアイカードに改めました。

また、当社につきましては、収益力向上に向けて経費削減と業務効率の向上に努めるとともに、同社の提供する保険や資産運用等の金融サービスについて、より多くの百貨店顧客にご紹介するため、本年9月に伊勢丹新宿本店の隣接地に「フィナンシャルジュ プラザ」をオープンいたしました。

なお、本年4月1日付で、三越の完全子会社である株式会社三越保険サービスの株式を、吸収分割により当社に移管し同社を直接子会社といたしました。

以上のような状況のもと、クレジット・金融業の売上高は69億円余、前年同期比95.2%、営業利益は前年同期と比べ12億円余減少し7千万円余の損失となりました。



〈フィナンシャルジュ プラザ〉

## ■ 小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、スーパーマーケット業を営む株式会社クイーンズ伊勢丹が、品質を追求した「グリーンQ」をはじめ、食の安心・安全・健康を重視した質の高い品揃えを実現することで地域顧客にご満足をいただいております。

以上のような状況のもと、小売・専門店業の売上高は296億円余、前年同期比93.7%、営業利益は前年同期と比べ1億円余減少し2億円余の損失となりました。



〈グリーンQ〉

## 友の会事業

友の会事業におきましては、株式会社三越友の会や株式会社イセタンクローバーサークル等が百貨店店舗内において友の会の管理・運営を行い、固定顧客の増加に努めました。

なお、本年4月1日付で、三越の完全子会社である株式会社三越友の会と伊勢丹の完全子会社である株式会社イセタンクローバーサークルの株式を、吸収分割により当社に移管し両社を直接子会社といたしました。

このような状況のもと、友の会事業の売上高は22億円余、営業利益は12億円余の損失となりましたが、友の会事業各社につきましては、経常利益を上げております。

なお、従来友の会事業は、その他事業に含めておりましたが、前連結会計年度末より友の会事業として区分表示することに变更しているため、前年同期比は記載しておりません。

## その他事業

その他事業につきましては、グループ内の経営資源の最適化と生産性の高い営業支援機能の構築に向け、物流・人材サービス機能の再編に取り組みました。具体的には、三越の完全子会社である株式会社エム・ロジスティクス・ソリューションズ(物流子会社)と株式会社プロネット(人材サービス子会社)の2社、ならびに伊勢丹の完全子会社である株式会社伊勢丹ビジネスサポート(物流子会社)と株式会社伊勢丹キャリアデザイン(人材サービス子会社)の2社は、本年4月1日付で、吸収分割によりその株式を当社に移管し直接子会社といたしました。さらに、同日付で、物流子会社と人材サービス子会社同士は合併し、それぞれの商号を株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズと改めました。

このような状況のもと、その他事業の売上高は621億円余、前年同期比83.7%、営業利益は前年同期と比べ5億円余減少し2億円余の利益となりました。

以上により、当中間期の連結決算につきましては、売上高は6,171億円余、前年同期比87.5%、営業利益は前年同期と比べ116億円余減少し4億円余の損失となりました。また、経常利益は68億円余、前年同期比35.7%、中間純利益は41億円余、前年同期比34.1%となりました。

なお、平成21年4月1日から平成21年9月30日までの株式会社三越の売上高は、2,703億円余、前年同期比83.3%、営業利益は前年同期と比べ61億円余減少し38億円余の損失となりました。また、同期間の株式会社伊勢丹の売上高は、1,856億円余、前年同期比88.0%、営業利益は31億円余、前年同期比48.8%となっております。





## (2) 対処すべき課題

さて、今後の経済環境につきましては、新政権の打ち出す内需振興策の着実な推進とその効果の顕在化が望まれますが、世界的な金融危機の行方など不透明な要素も多くあり、回復が実感できるまでにはさらに時間を要するものと思われま

す。小売業界におきましては、雇用情勢が引き続き懸念されるなか、消費者の生活防衛意識はさらに強まる一方で、業態を越えた企業間の顧客の争奪戦はさらに激しさを増すものと思われま

す。このような状況のもとで当社グループは、常にお客さまと向きあい、一人ひとりのお客さまのご満足の最大化を図ることで、お客さまとの信頼関係を深めてまいります。また、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さまにとってなくてはならない「マイデパートメントストア」の実現を目指してまいります。

さらに、コーポレート・ガバナンスにつきましては、実効的な内部統制システムを整備するとともに、株主の皆様にご信頼いただける透明性・客観性の高い経営機構の構築に取り組むことで、企業価値向上に向けた基盤づくりに努めてまいります。

最後に店舗の営業終了に関するご報告をさせていただきます。

先にご案内のとおり、三越武蔵村山店と三越名取店ならびに鎌倉と盛岡の小型売店2店は本年3月1日に、三越池袋店と三越鹿児島店は本年5月6日に、営業を終了させていただきました。さらに、伊勢丹吉祥寺店を来年3月14日に、三越の小型売店53店舗のうち11店舗を来年3月までに、それぞれ営業を終了させていただく予定でございます。

当社グループは、収益力の向上と財務基盤の強化に向けて諸施策に取り組んでおりますが、経済環境が急速に変化するなか、さらに一段と踏み込んだ選択と集中による構造改革を断行すべきとの判断から、一連の店舗再編施策を推進している次第でございます。

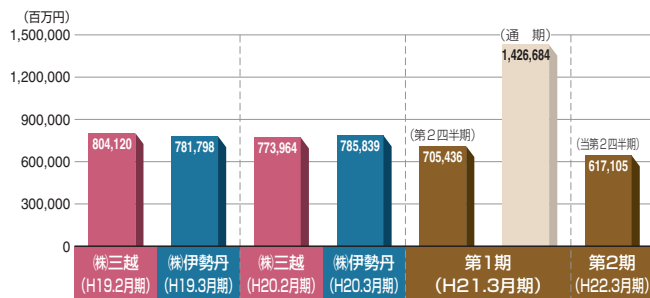
各店舗の営業終了に伴うご不便に対しましてはここに深くお詫び申し上げますとともに、株主様には、当社グループが持続的・永続的に企業価値の向上を図れる盤石な経営基盤を早期に築くことで、さらに提供価値を高めてまいることができると考えております。何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ここに、皆様の日頃のご支援とご愛顧に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### (3) 財産および損益の状況の推移

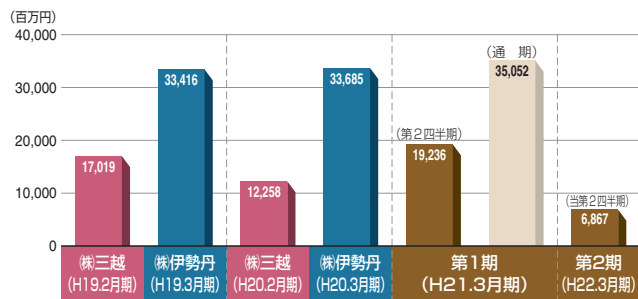
#### ●連結売上高

中核事業である百貨店業を中心に、新たな顧客ニーズの開拓と顧客の購買心理を追求することで、最高レベルのサービスと商品のご提供に努めました。また、要員体制を整備することで、販売サービスのレベルアップと収益性の向上を目指しました。しかしながら、厳しい経済環境のもとで全体の底上げには至らず、当第2四半期の連結売上高は、前年同期と比べ12.5%減少し617,105百万円となりました。



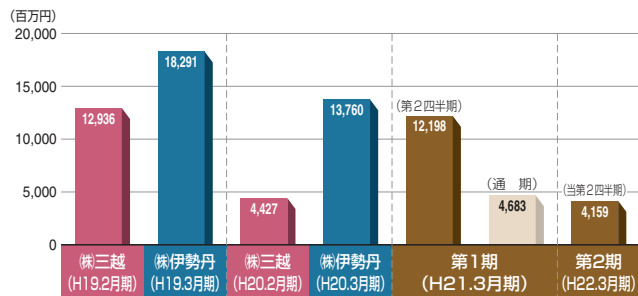
#### ●連結経常利益

売上総利益は174,498百万円となり、販売費及び一般管理費174,923百万円を控除した営業利益は、前年同期と比べ11,646百万円減少し425百万円の損失となりました。また、負ののれん償却額6,658百万円、持分法による投資利益1,417百万円などの営業外収益を11,513百万円計上する一方、営業外費用として4,220百万円を計上いたしました結果、当第2四半期の連結経常利益は前年同期と比べ12,368百万円減少し6,867百万円となりました。



#### ●連結純利益

特別利益として投資有価証券売却益737百万円、固定資産売却益20百万円を計上する一方で、投資有価証券評価損1,359百万円、構造改革損失1,812百万円などの特別損失4,693百万円を計上いたしました結果、税金等調整前四半期純利益は2,932百万円となりました。さらに、法人税等の税金費用、少数株主利益を計上いたしました結果、当第2四半期の連結純利益は前年同期と比べ8,038百万円減少し4,159百万円となりました。





連 結	(株)三越 (H19.2月期)	(株)伊勢丹 (H19.3月期)	(株)三越 (H20.2月期)	(株)伊勢丹 (H20.3月期)	第1期 (H21.3月期)		第2期 (H22.3月期)
					(第2四半期)	(通 期)	(当第2四半期)
売上高 (百万円)	804,120	781,798	773,964	785,839	705,436	1,426,684	617,105
営業利益または営業損失(△)(百万円)	12,617	32,252	8,455	33,417	11,221	19,582	△425
経常利益 (百万円)	17,019	33,416	12,258	33,685	19,236	35,052	6,867
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	12,936	18,291	4,427	13,760	12,198	4,683	4,159
1株当たりの四半期 (当期) 純利益 (円)	26.45	82.43	8.99	62.49	31.45	12.08	10.73
純資産 (百万円)	162,840	213,194	159,233	218,716	515,015	489,740	491,103
総資産 (百万円)	577,672	474,895	570,727	466,542	1,392,704	1,351,633	1,351,283

(注記) 本「株主通信」に記載する金額等については、表示桁未満の端数がある場合、これを切り捨ててあります。また、比率については、表示桁未満の端数がある場合、これを四捨五入してあります。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>252,566</b>
現金及び預金	41,080
受取手形及び売掛金	94,300
有価証券	409
商品及び製品	63,832
仕掛品	105
原材料及び貯蔵品	1,129
その他	54,332
貸倒引当金	△2,623
<b>固定資産</b>	<b>1,098,716</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>798,425</b>
建物及び構築物（純額）	192,815
土地	575,229
その他（純額）	30,380
<b>無形固定資産</b>	<b>75,346</b>
のれん	227
その他	75,118
<b>投資その他の資産</b>	<b>224,944</b>
投資有価証券	93,505
その他	133,502
貸倒引当金	△2,064
<b>資産合計</b>	<b>1,351,283</b>

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>537,841</b>
支払手形及び買掛金	90,189
短期借入金	199,094
未払法人税等	2,986
商品券回収損引当金	16,858
引当金	8,012
その他	220,700
<b>固定負債</b>	<b>322,338</b>
長期借入金	7,100
繰延税金負債	193,577
退職給付引当金	62,167
引当金	369
負ののれん	46,320
その他	12,804
<b>負債合計</b>	<b>860,180</b>
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	<b>486,225</b>
資本金	50,016
資本剰余金	319,129
利益剰余金	117,154
自己株式	△74
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△9,997</b>
その他有価証券評価差額金	△501
繰延ヘッジ損益	12
為替換算調整勘定	△9,508
<b>新株予約権</b>	<b>710</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>14,164</b>
<b>純資産合計</b>	<b>491,103</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,351,283</b>

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT 連結貸借対照表

- 総資産は1,351,283百万円と前連結会計年度末に比べて349百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金が9,701百万円減少したことなどで流動資産が8,290百万円減少する一方、有形固定資産が13,613百万円増加、無形固定資産が704百万円増加および投資その他の資産が6,377百万円減少したことなどで固定資産合計が7,940百万円増加したことによるものです。
- 負債合計は860,180百万円と前連結会計年度末に比べて1,711百万

- 円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が8,815百万円減少し、短期借入金が増加したことなどで流動負債が36,851百万円増加する一方、長期借入金が増加したことなどで固定負債が38,563百万円減少したことによるものです。
- 純資産合計は491,103百万円と前連結会計年度末に比べて1,362百万円増加しました。



## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
	自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日
売上高	617,105
売上原価	442,606
売上総利益	174,498
販売費及び一般管理費	174,923
営業損失	425
営業外収益	11,513
受取利息	419
受取配当金	512
負ののれん償却額	6,658
持分法による投資利益	1,417
その他	2,505
営業外費用	4,220
支払利息	1,158
固定資産除却損	510
その他	2,550
経常利益	6,867
特別利益	758
固定資産売却益	20
投資有価証券売却益	737
特別損失	4,693
固定資産処分損	551
投資有価証券評価損	1,359
構造改革損失	1,812
その他	970
税金等調整前四半期純利益	2,932
法人税等	△1,501
少数株主利益	273
四半期純利益	4,159

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間
	自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	737
現金及び現金同等物の増減額	609
現金及び現金同等物の期首残高	34,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,359

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

### POINT 連結損益計算書

- 売上高は前年同期と比べ12.5%減少し617,105百万円となり、売上原価442,606百万円を控除した売上総利益は174,498百万円となり、売上総利益率は28.3%となりました。
- 販売費及び一般管理費として174,923百万円を計上した結果、営業利益は前年同期と比べ11,646百万円減少し425百万円の損失となりました。また、営業外収支は7,292百万円の利益超過となりましたが、経常利益は前年同期と比べ12,368百万円減少し6,867百万円となりました。
- 経常利益に特別利益、特別損失を加味し、法人税等の税金費用、少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期と比べ8,038百万円減少し4,159百万円となりました。

### POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、10,416百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,932百万円と減価償却費11,227百万円を計上したことなどによるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、18,111百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10,427百万円、事業の譲受による支出13,125百万円などによるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、7,566百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金を57,360百万円返済する一方、短期借入金60,678百万円、コマーシャルペーパー10,000百万円の増加などによるものです。

## 三越伊勢丹グループ3ヶ年計画について

### [1] これまでの取り組み

百貨店業界は他業種・他業態との競争激化に加え、消費者の購買手段の多様化や低価格志向の高まりの影響を受け、市場規模は縮小傾向にあります。

こうしたなか当社グループは、3つの基本方針のもと、統合効果を早期に創出し、お客さまのご満足最大化の実現を目指し、スケジュールどおりに計画を進めております。

しかしながら、当初の想定をはるかに上回る環境変化がおこるなか、現計画どおりに取り組むだけではお客さまの価値観の変化に対応できない状況にあります。そのため、基本方針の考え方は継続しながら、優先度の高い以下の戦略内容に絞込み、集中して取り組む体制を整えるべく、「三越伊勢丹グループ3ヶ年計画(平成22年度～24年度)」を推進してまいります。

### [2] 今後3ヶ年の取り組み

#### 【戦略骨子Ⅰ】顧客接点の再強化(百貨店ビジネスモデル改革)

「店頭において汲み取ったご要望に応じて商品・サービスを編集し、責任を持ってご提案する」という百貨店の最も重要な役割を果たすため、

- ① 変化するお客さまの価値観・ご要望を迅速かつ的確に把握し、適時適品を実現すること
- ② お取引先との関係を見直し、場合によっては生産の部分まで遡って関与することで無駄をなくし、価格に見合った価値のある商品提供を行うこと
- ③ ①、②を支える仕組みを構築すること

の3点に取り組んでまいります。

#### 【戦略骨子Ⅱ】グループ基盤整備と構造改革の推進

「首都圏事業会社統合」、「併存エリア事業会社統合」、「周辺／関連事業の整理・統廃合」などの体制構築を確実かつ迅速に推進することで、グループの経営資源を最大限活用、統合効果を創出し、早期の収益回復を図ってまいります。

#### 【戦略骨子Ⅲ】成長事業の育成

グループとして、安定した収益を生み出し存続していくため、ノウハウ蓄積があり、かつ、早期に成果を生み出すことができる、

①アジア百貨店事業、②カード事業、③ソリューションビジネス(WEB、宅配等)に焦点を絞り、強化してまいります。

#### 基本方針

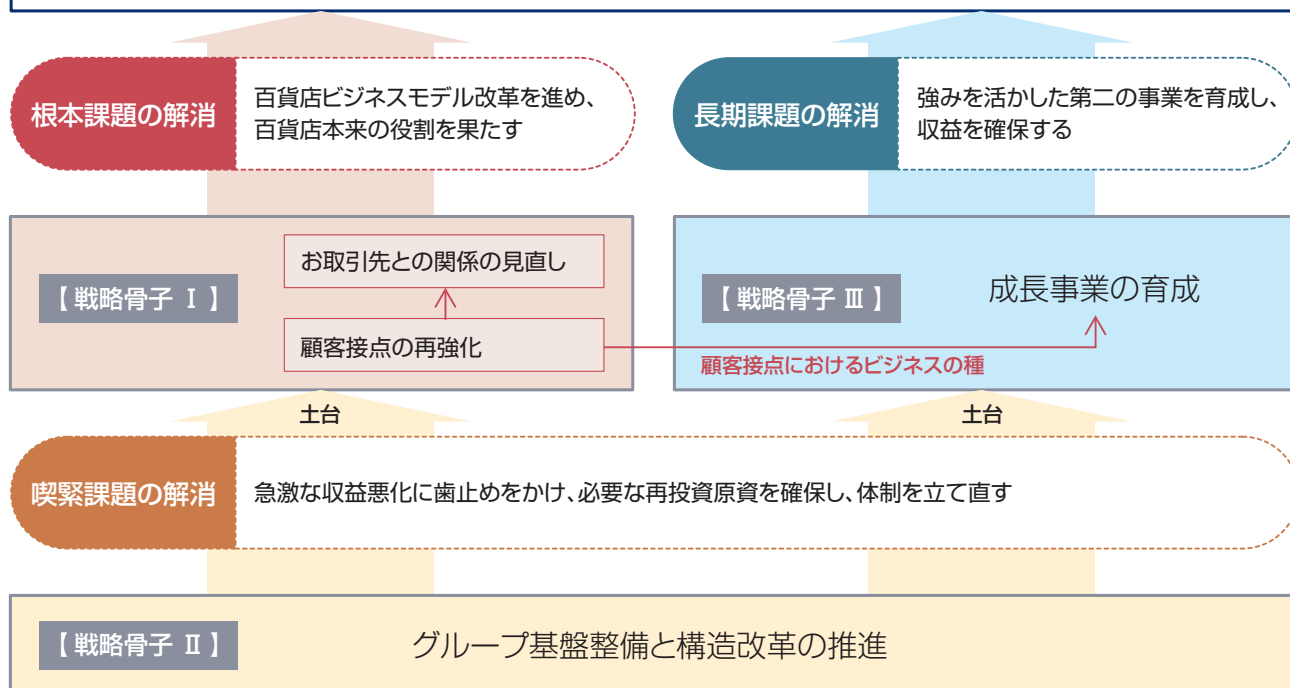
①『三越』『伊勢丹』ブランドの明確化とブランド価値の向上

②グループ力を最大限発揮するための営業基盤の統合

③店頭における販売員一人ひとりが提供する顧客満足の最大化

## 目指すゴールイメージ

常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、  
 お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、  
 お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、  
 高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ



### [3] 数値イメージ

連結営業利益	平成24年度 200億円
投資計画	3ヶ年計画期間合計 約1,100億円

## 平成22年7月1日よりスタート 新たな「株主ご優待制度」のご案内

株主の皆様が、当社株式を継続所有していただくとともに、当社グループの店舗をさらに便利にご利用いただくために、「株主ご優待制度」の内容を一部変更し、平成22年7月1日より、新たな「株主ご優待制度」としてスタートいたします。新たな「株主ご優待制度」の内容は以下のとおりでございます。

### 1. 対象株主様およびご郵送時期

3月末日および9月末日現在100株以上ご所有の株主様に、「株主様ご優待カード」を発行いたします。年2回のご郵送時期は以下のとおりでございます。

#### ■ご郵送時期と有効期限

対象株主様の確定日	ご郵送時期	有効期限
3月末日現在の株主様	同年 6 月下旬	同年12月末日
9月末日現在の株主様	同年12月上旬	翌年 7 月末日

### 2. 「株主様ご優待カード」のご優待内容

(1) ご利用限度額の範囲内でお買物(消費税を除く金額)を10%割引いたします。

#### i) 取扱店

三越、伊勢丹、ジェイアール京都伊勢丹、岩田屋、札幌・函館丸井今井の各店舗でご利用いただけます。

※札幌・函館丸井今井につきましては、平成22年10月より、新たな取扱店となる予定です。

※本カードはセール、食品、レストラン街でもご利用いただけます。なお、一部に適用できない店舗、ショップ、ブランド、品目等がございますのでご了承ください。

#### ii) ご入金方法

現金、三越・伊勢丹・岩田屋発行の商品券、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカード、伊勢丹アイカードおよび三越 M CARD (平成22年4月1日より発行) による105円 (消費税を含む。) 以上のお買物に適用いたします。

※店舗によりご入金方法が異なる場合がございますのでご注意ください。

※伊勢丹アイカードおよび三越 M CARDでご入金の場合は、カードのご優待率の適用やエムアイカードポイントの付与はありません。ただし、年間のお買い上げ額の加算対象となります。

#### iii) ご利用限度額

ご所有株数ごとのご利用限度額 (10%割引が適用されるお買物の限度額) は下表のとおりでございます。

#### ■ご利用限度額 (お手元に届いてから有効期限まで)

※ご利用限度額には消費税を含みません。

ご所有株数		ご利用限度額	継続所有株主様の特典
100株以上	300株未満	15万円	対象株主様の確定日に300株以上をご所有の株主様で2年以上の継続所有株主様は、左記のご利用限度額が2倍となります。
300株以上	500株未満	20万円	
500株以上	1,000株未満	25万円	
1,000株以上	3,000株未満	50万円	
3,000株以上	5,000株未満	75万円	
5,000株以上	10,000株未満	100万円	
10,000株以上		150万円	

※「株主様ご優待カード」のご郵送時に、株主様のご利用限度額 (10%割引が適用されるお買物の限度額) をお知らせいたします。

※平成22年3月末日現在300株以上をご所有の株主様のうち、2年以上の継続所有株主様を確定するにあたっての期間の始期は、平成20年4月1日 (株式会社三越伊勢丹ホールディングスの設立の日) いたします。





(2) その他、本カードのご提示により、以下の施設（ショップ）のご利用においてご優待がございます。

	施設（ショップ）	ご優待内容
百貨店の各店舗	三越劇場（三越本店）、理容室、美容室、貸衣裳、写真室、エステティック・ネイルサロン、デイスパ（伊勢丹本店）、クリーニング、洗車コーナー（伊勢丹本店）	10%割引いたします。
	文化展・美術展等の有料催事（三越・岩田屋）	無料でご鑑賞いただけます。
	駐車場	無料駐車時間を1時間延長いたします。
	三越通信販売カタログ	10%割引いたします。
その他のグループ店舗	クイーンズ伊勢丹（スーパーマーケット）	5%割引いたします。
	伊勢丹会館（レストラン・喫茶・美容室）	5%割引いたします。
	沖縄三越、三越海外各店	10%割引いたします。
契約施設	オークラホテルズ&リゾーツ（国内）、ホテルニューオータニ東京、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル	ご優待料金でご宿泊いただけます。

i) ご入金方法

現金、三越・伊勢丹・岩田屋発行の商品券、全国百貨店共通商品券、百貨店ギフトカードによる105円（消費税を含む。）以上のご利用に適用いたします。

※クイーンズ伊勢丹では、現金、三越または伊勢丹発行の商品券、ポイント券による100円（消費税を含む。）以上のお買物に適用いたします。その他、店舗・施設によりご入金方法が異なる場合がございますのでご注意ください。

ii) その他のご利用方法

- ・文化展・美術展等の有料催事には、ご本人様およびご同伴者1名様が無料でご入場いただけます。
- ・三越通信販売カタログをご利用の場合は、ご注文の際に本カードの番号等を確認させていただきます。
- ・無料駐車時間の延長は1台に限らせていただきます。
- ・契約施設のホテルをご利用の場合は、各ホテルの予約センターにてご予約をお承りの際に、本カードの番号等を確認させていただきます。
- ・一部にご優待が適用できない施設、ショップ、ブランド、品目、公演、催事等がございます。

※今回までご送付しております「株主お買物優待券」、「株主ご優待カード」、「クイーンズ伊勢丹 株主お買物優待券」につきましては、その優待機能を、上記の「株主ご優待カード」に移管させていただきます。また、「株主お食事ご利用券3,000円」につきましては、新たな「株主ご優待制度」の実施にあわせて廃止をさせていただきます。

◎岩田屋の店舗における三越伊勢丹グループの「株主様ご優待カード」のご利用について

新たな取扱店となる岩田屋につきましては、平成22年7月1日のスタートから一定期間、ご優待の内容の一部が、本紙のご案内と異なる場合がございますので、ご了承くださいませようようお願い申し上げます。

# 三越伊勢丹ホールディングスの概要 (平成21年9月30日現在)

## 会社概要

- 商号** 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
- 事業内容** 百貨店業等の事業を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付帯または関連する事業
- 本社** 〒104-0061  
東京都中央区銀座四丁目6番16号  
(事務所所在地)  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿五丁目16番10号
- 会社設立** 平成20年4月1日
- 資本金** 500億16百万円
- URL** <http://www.imhds.co.jp>

## 組織図



(注) 持分法適用関連会社

※伊勢丹の子会社である株式会社静岡伊勢丹、株式会社新潟伊勢丹、株式会社岩田屋につきましては、平成21年10月1日付で、伊勢丹の保有する3社の株式を吸収分割により株式会社三越伊勢丹ホールディングスに移管し3社を直接子会社としております。



## 役員

地位	氏名	担当または他の法人等の代表状況等
代表取締役会長執行役員	武 藤 信 一	(株)伊勢丹取締役 (株)三越取締役(※3)
代表取締役社長執行役員	石 塚 邦 雄	(株)三越代表取締役社長執行役員 (株)伊勢丹取締役(※3)
取締役	二 橋 千 裕	(株)伊勢丹代表取締役専務執行役員
取締役	天 野 公 平	(株)三越代表取締役会長執行役員
取締役専務執行役員	高 田 信 哉	経営戦略本部長
取締役常務執行役員	赤 松 憲	管理本部長 (株)伊勢丹取締役(※3)
取締役(※1)	畔 柳 信 雄	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ取締役社長 (株)三菱東京UFJ銀行取締役会長
取締役(※1)	宮 村 眞 平	三井金属鉱業(株)取締役相談役 パウダーテック(株)取締役会長 パンパシフィック・カップバー(株)取締役(※3)
取締役(※1)	池 田 守 男	(株)資生堂相談役 (株)小松製作所取締役(※3) 東京メトロポリタンテレビジョン(株)取締役(※3) 旭化成(株)取締役(※3)
常勤監査役	二 瓶 郁 夫	(株)三越監査役(※4) (株)岩田屋監査役(※4)
常勤監査役	阿 部 健 一	(株)伊勢丹監査役(※4)
監査役(※2)	北 山 禎 介	(株)三井住友フィナンシャルグループ取締役社長 (株)三井住友銀行取締役会長 富士フィルムホールディングス(株)取締役(※3)
監査役(※2)	飯 島 澄 雄	東京虎ノ門法律事務所 弁護士 中央大学法科大学院講師 (株)TKC監査役(※4) 北川工業(株)監査役(※4) (株)商船三井監査役(※4) (株)伊勢丹監査役(※4)

(注記) ※1印は社外取締役であります。  
 ※2印は社外監査役であります。  
 ※3印は当該株式会社における社外取締役であります。  
 ※4印は当該株式会社における社外監査役であります。

## 会社の株式に関する事項

発行可能株式総数..... 1,500,000,000株

発行済株式の総数..... 387,880,582株

(注記) うち自己株式数は、51,985株であります。

株主数..... 145,175名

### 三越伊勢丹ホールディングスのロゴマークについて



#### 三越伊勢丹ホールディングス

三越、伊勢丹の頭文字「M」と「I」をモチーフにしながら「向きあう」を表現した三越伊勢丹ホールディングスのシンボルマークです。3人の人が肩を組んでいるようにも見える「M」と「I」に、お客さま、仲間たち、パートナー、株主、そして社会・地域と、真摯に、しなやかに、力強く向きあう従業員の方を託しました。

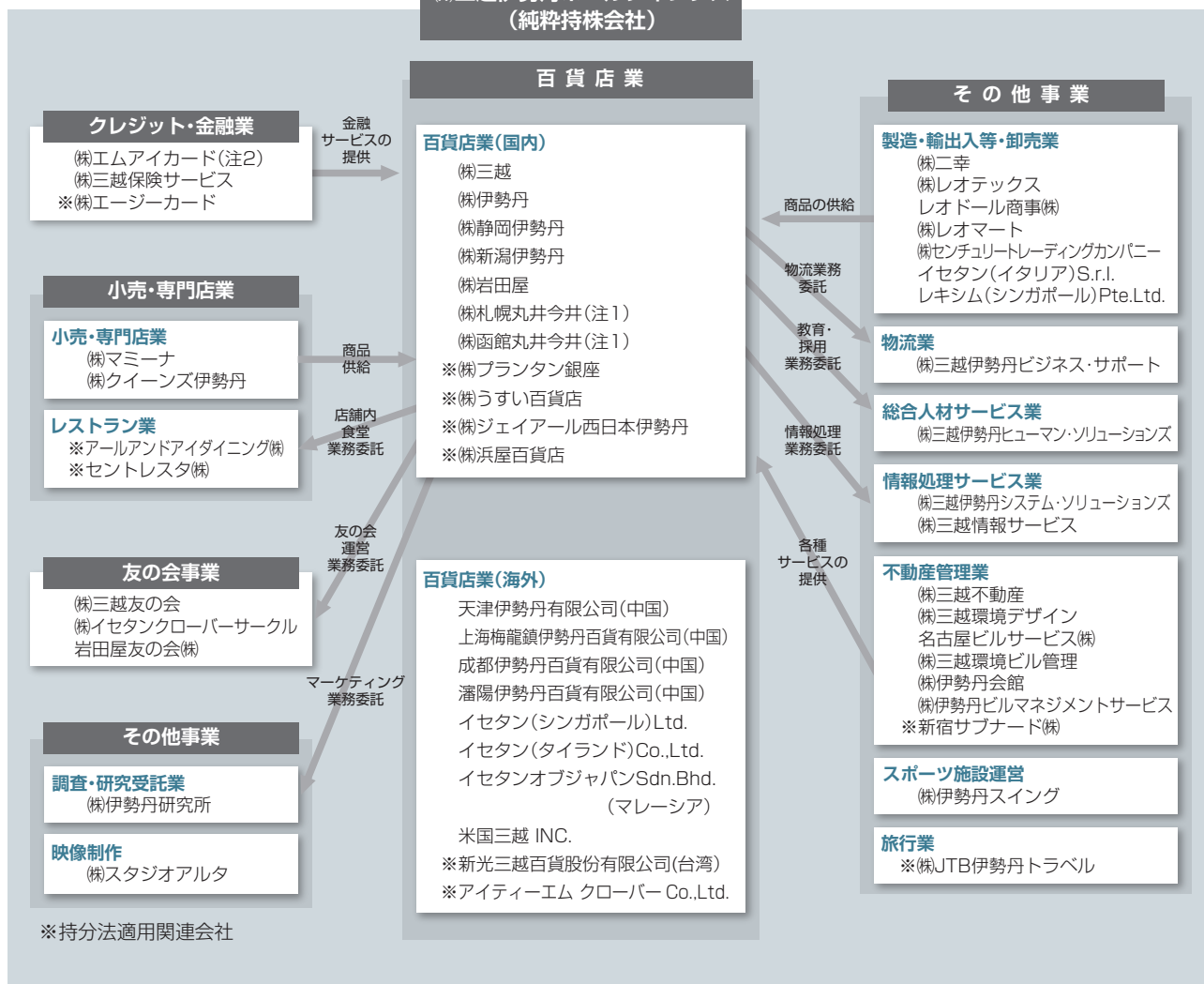
正方形と長方形を組み合わせたシンプルかつ普遍的な形によって、「向きあう」この意味性と同時に、これまでの小売サービス業にない上質感、独自性を表現しています。コーポレートカラーは黒と金。強い意志の表明である「黒」と、日本の伝統色である「金」を合わせることで、両社固有の伝統・文化と高い信頼性を醸しだしています。

形、色とともに、世界に、未来に羽ばたくための、私たちの原点の象徴となっています。

# 事業系統図 (ご参考)

(株)三越伊勢丹ホールディングス  
(純粋持株会社)

平成21年9月30日現在



(注1) (株)札幌丸井今井および(株)函館丸井今井は、平成21年5月29日付で設立し、平成21年8月1日より営業を開始しております。

(注2) (株)伊勢丹アイカードは、平成21年9月1日付で(株)エムアイカードに商号変更いたしました。

# グループ店舗のご案内 (平成21年9月30日現在)



## 三越

### ●国内の主要店舗

**日本橋本店**  
〒103-8001  
東京都中央区日本橋室町1-4-1  
TEL.03-3241-3311 (代表)

**銀座店**  
〒104-8212  
東京都中央区銀座4-6-16  
TEL.03-3562-1111 (代表)

**恵比寿店**  
〒150-6090  
東京都渋谷区恵比寿4-20-7  
TEL.03-5423-1111 (代表)

**新宿アルコット店**  
〒160-8455  
東京都新宿区新宿3-29-1  
TEL.03-3354-1111 (代表)

**多摩センター店**  
〒206-8543  
東京都多摩市落合1-46-1  
TEL.042-357-7111 (代表)

**千葉店**  
〒260-8631  
千葉県千葉市中央区富士見2-6-1  
TEL.043-224-3131 (代表)

**札幌店**  
〒060-8666  
北海道札幌市中央区南1条西3-8  
TEL.011-271-3311 (代表)

**仙台店**  
〒980-8543  
宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15  
TEL.022-225-7111 (代表)

### ●海外の主要店舗

**イギリス**  
ロンドン三越 (ショッピング・レストラン)

**フランス**  
パリ三越  
三越エトワール (日仏文化交流空間)

**イタリア**  
ローマ三越

**スペイン**  
マドリッド三越

**アメリカ**  
オランダ三越 (ショッピング・レストラン)

**新潟店**  
〒951-8530  
新潟県新潟市中央区西城通五番町866  
TEL.025-227-1111 (代表)

**名古屋栄店**  
〒460-8669  
愛知県名古屋市中区栄3-5-1  
TEL.052-252-1111 (代表)

**ラシック店**  
〒460-0008  
愛知県名古屋市中区栄3-6-1  
TEL.052-259-6666 (代表)

**星ヶ丘店**  
〒464-8661  
愛知県名古屋市中区星ヶ丘元町14-14  
TEL.052-783-1111 (代表)

**広島店**  
〒730-8545  
広島県広島市中区胡町5-1  
TEL.082-242-3111 (代表)

**高松店**  
〒760-8639  
香川県高松市内町7-1  
TEL.087-851-5151 (代表)

**松山店**  
〒790-8532  
愛媛県松山市一番町3-1-1  
TEL.089-945-3111 (代表)

**福岡店**  
〒810-8544  
福岡県福岡市中央区天神2-1-1  
TEL.092-724-3111 (代表)

**台湾**  
新光三越  
台北南京西路店1号館  
台北南京西路店2号館  
台北南京西路店3号館  
台北駅前店  
台北信義1号店 (A11)  
台北信義2号店 (A8)  
台北信義3号店 (A9)  
台北信義4号店 (A4)  
台北天母店  
桃園大有店  
桃園駅前店  
新竹店  
台中店  
嘉義店  
台南1号店 (中山店)  
台南2号店 (西門店)  
高雄三多店

**中国**  
花園飯店 (上海) 三越

## 伊勢丹

### ●国内の主要店舗

**新宿本店**  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿3-14-1  
TEL.03-3352-1111 (代表)

**立川店**  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-5-1  
TEL.042-525-1111 (代表)

**吉祥寺店**  
〒180-0004  
東京都武蔵野市吉祥寺本町1-11-5  
TEL.0422-21-1111 (代表)

**松戸店**  
〒271-0092  
千葉県松戸市松戸1307-1  
TEL.047-364-1111 (代表)

**浦和店**  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂1-15-1  
TEL.048-834-1111 (代表)

### ●海外の主要店舗

**シンガポール**  
シンガポール伊勢丹・スコッツ店  
シンガポール伊勢丹・オーチャード店  
シンガポール伊勢丹・カトン店  
シンガポール伊勢丹・タンピナス店

**マレーシア**  
クアラルンプール伊勢丹・LOT 10店  
クアラルンプール伊勢丹・KLCC店  
クアラルンプール伊勢丹・THE GARDENS店

**相模原店**  
〒228-0803  
神奈川県相模原市相模大野4-4-3  
TEL.042-740-1111 (代表)

**府中店**  
〒183-0023  
東京都府中市宮町1-41-2  
TEL.042-334-1111 (代表)

**静岡伊勢丹**  
〒420-0031  
静岡県静岡市葵区呉服町1-7  
TEL.054-251-2211 (代表)

**新潟伊勢丹**  
〒950-0909  
新潟県新潟市中央区八千代1-6-1  
TEL.025-242-1111 (代表)

**ジェイアール京都伊勢丹**  
〒600-8555  
京都府京都市下京区烏丸通塩小路下路東塩小路町  
TEL.075-352-1111 (代表)

**タイ**  
バンコク伊勢丹

**中国**  
上海梅龍鎮伊勢丹  
天津伊勢丹  
成都伊勢丹  
瀋陽伊勢丹

## 岩田屋

**本店**  
〒810-8680  
福岡県福岡市中央区天神2-5-35  
TEL.092-721-1111 (代表)

**久留米店**  
〒830-8510  
福岡県久留米市天神町1-1  
TEL.0942-35-7111 (代表)

## 丸井今井

**札幌丸井今井**  
〒060-0061  
北海道札幌市中央区南一条西2-1-1  
TEL.011-205-1151 (代表)

**函館丸井今井**  
〒040-0011  
北海道函館市本町32-15  
TEL.0138-32-1151 (代表)

# 株式に関するお知らせ

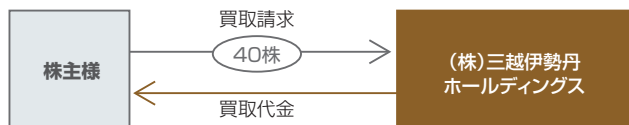
## 1 単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式とは100株(単元株)に満たない1株から99株までの株式のことで、株式市場では売買できない株数の単位のことをいいます。当社では、単元未満株式を当社が買取る制度および株主様が当社に対して買増しを請求できる制度を採用していますので以下にご案内申し上げます。

### ■買取請求制度

株主様がご所有の100株未満の株式を、当社が市場価格にて買取らせていただく制度です。

【例】株主様がご所有の40株を買取請求する場合



(ご注意)

- 1.単元未満株式の買取・買増請求のお手続きにつきましては、単元未満株式が一般口座に記録されている場合は口座を開設されている証券会社等に、特別口座に記録されている場合は三菱UFJ信託銀行にお問合せください。
- 2.当社では、単元未満株式の買取・買増に係る手数料はいただいております(ただし、証券会社等によっては、取次手数料が発生する場合がございます。)

### ■買増請求制度

100株(単元株)に不足する数の株式を、株主様が当社から市場価格で買増しすることで、株主様がご持ちの単元未満株式を単元株にする制度です。

【例】株主様が60株を買増請求して、ご持ちの株数を100株にする場合

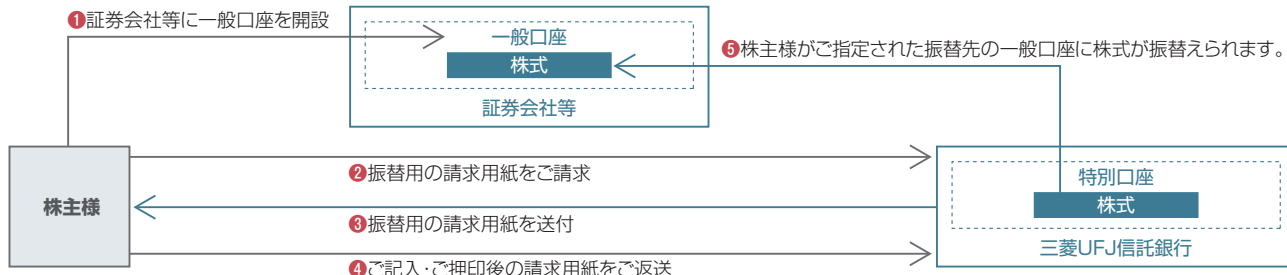


## 2 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている株式は特別口座のままでは売却はできません(単元未満株式は除きます。)

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却するためには、証券会社等に一般口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から株式を振替える必要があります。

### ■特別口座から一般口座への振替のお手続き



(ご注意)

- 1.特別口座から一般口座への振替のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。(お問合せ先 TEL.0120-232-711)
- 2.振替のお手続きの前に、証券会社等で株主様名義の一般口座を開設していただけますようお願い申し上げます。なお、すでに証券会社等に一般口座をお持ちの場合、新たに別の一般口座を開設する必要はございません。



事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711（通話料無料：平日9：00～17：00受付）
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所*
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.imhds.co.jp">http://www.imhds.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

※当社は平成21年10月15日付で、福岡証券取引所にも上場しております。

#### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社三越伊勢丹ホールディングスは、平成21年度の中間配当を行わず、期末に一括して配当を実施する予定でございます。



## 三越伊勢丹ホールディングス

本社 ● 〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目6番16号

事務所所在地 ● 〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目16番10号

ホームページアドレス ● <http://www.imhds.co.jp>

証券コード ● 3099

### 青朽葉 *aokuchiba*

秋に樹々が紅葉し朽ちていく様を「朽葉色」と呼び、平安時代から用いられた色名で、その緑の朽葉色を「青朽葉」という。